

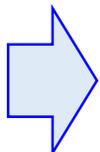
使いやすい水田にしませんか！ ～畦畔除去による区画拡大等を支援します～

ほ場が狭い、排水が悪い、水管理が大変など、水田に関するお悩みはありませんか？

○水田が狭いので、田植え、稲刈り等の作業が大変！

畦畔除去による区画拡大

改修前



改修後



畦畔を取り除くと
10a→20aの水田に

支援額
(農地耕作条件改善事業)

5.5万円～25万円
／10a当たり

作業効率UP 労働時間短縮

○排水が悪いので、水稻以外の作物が作れない！

同時期に大豆を植えて、こんなに差が出ます



暗渠有

暗渠無

大豆、野菜等の収量UP 収入増加

コンバインが傾いた…



こんなことも無くなります

農業機械での作業効率もUP

暗渠排水

支援額
(農地耕作条件改善事業)

7.5万円～15万円
／10a当たり

○毎日の水管理が面倒だなー！

遠隔操作型の例

自動給水栓の設置



自動給水機

種類はいろいろあります



用排水口にセンサーのついた給水栓を取り付けます

支援額
(農地耕作条件改善事業)

1万5千円／1箇所

スマホで簡単水管理

※写真・図は積水化学株式会社HP

《農地耕作条件改善事業で簡易な水田整備ができます。地域内で取り組んでみては！》

※農地耕作改善事業は県が定める重点地域内で、中間管理機構を活用する農地が対象となります。

【農地耕作条件改善事業事業を活用した事例】

農地の利用集積を効率的に実現～西都市三納地区～

地域の課題は？

- 基盤整理(区画整理)の年代が古く、小区画(10a程度)のほ場が多い
- 水はけの悪い農地が多く、作物の生育不良や大型機械による作業の効率化が困難
- ほ場が分散し、農作業効率が悪い

課題解決のための取組！

- 農業委員と農地最適化推進委員が中心となり、地域の話合いの場を設定
- 話合いの地域を小さな地区(多面的機能支払い交付金の組織)単位としたことで、中間管理事業と耕作条件改善事業への理解が増進
- 担い手に集約化していくための条件整備を重要視



地域の農家等による話し合い

取組結果

- 農地中間管理機構への集積面積割合の上昇(平成28年度末8%→平成30年度末41%)
- 農地耕作条件改善事業による暗渠排水工事等により、担い手の作業効率の向上とともに水田裏作の推進や、農地を再配分・再集約化することで地域農業の発展が期待される



農地の集約・集積

【農地耕作条件改善事業】

1. 地域内農地集積型

○ 畦畔除去による区画拡大や暗渠排水等のきめ細やかな耕作条件の改善を機動的に支援します。



畦畔除去



暗渠排水



土壌改良



自動給水栓

(上記の外、2高収益作物転換型 3農地集積推進型があります。)

○ 定額助成

- ・ 区画拡大、暗渠排水、用水路の更新整備等(※1)
 - ・ 1地区あたり上限300万円(年基準額)の条件改善促進支援等(※1)
- (※1) 定額助成単価は現場条件等に応じた標準的な工事費の1/2相当

○ 定率助成

- ・ 農業用排水施設、暗渠排水、区画整理、農作業道、農地造成等
- ・ ICTによる水管理や防草対策等の維持管理の省力化支援等

問い合わせ先

農政に関する事業や制度への質問・ご意見等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

◇九州農政局宮崎県拠点

〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17

TEL0985-24-2365 FAX0985-27-2035

宮崎県拠点の

Webサイトはこちらから⇒

